

# 地域づくり団体 研修交流会 in 前橋

～若者を取り込んだ地域づくりを学ぶ～

## プレ散策

前橋市長の解説による広瀬川周辺や  
シェアハウスなどの中心市街地を散策



## 取組紹介

### シェアフラット馬場川の取組

前橋中央通り商店街振興組合 理事長 大橋 慶人 さん

中心市街地の活性化にはイベントも必要ですが、空き店舗の解消が重要だと考えています。空き店舗は商店街が自ら動かなければ、解消にはつながりません。シェアハウスは空き店舗解消の手段の一つだと考えています。

#### 空き店舗解決に向けた取組

- ・若手芸術家 8 人が家賃を出し合い、空き店舗をアトリエにして芸術活動を発信。
- ・空き店舗解決に向けた前橋流の取組。
  - ① 商店街のマッチング努力（貸し手と借り手双方の調整と情報提供）
  - ② 前橋市独自の中心市街地空店舗対策補助金
  - ③ (一社) 前橋起業支援センターのサポート力

#### ・学生等向け中心市街地居住促進事業補助金

- ① 学生に社会貢献活動（ボランティア等）を課すことにより、8,000 円の補助金を支出。
- ② 収入はほぼ家賃収入、色々な手を使って入居者が高止まりするよう工夫を凝らしている。

事業には前橋工科大学が深く関わっています。商店街で、学生が住めるような空きビルはないかという相談から始まりました。

- ・シェアフラット馬場川だけでなく、中心市街地に様々なシェアハウスの建設が予定・構想されている。

## アーツ前橋の取組

アーツ前橋 館長 住友 文彦 さん



便利で豊かな暮らしや大都市に住むことへの憧れがありましたが、若い人の意識が変わってきています。地方に住むことの豊かさ、価値観の変化が起きています。

#### 芸術で町の活性化

- ・アーツ前橋は、まちなかに来ている人がフラッと入館していただけるようにしている。  
→年間 10 万人の入館者を目指している。
- ・美術館で重要なのは、作家・芸術家・デザイナーとどうやって一緒に仕事をしていくのか。

アーツ前橋ができる前までは前橋市所有の収蔵物を市民文化会館で公開していましたが、市外の人が見に来るようなものではありませんでした。アーツ前橋ができてからは、前橋市所有の収蔵物を県内・県外の方が見られるようになりました。

- ・地域と美術館を繋げる重要な役割をしているのは、ボランティア（サポーター 80 名）。
- ・文化・芸術が地域に何を与えることができるかと考えるときに、数字だけでは示せない。
- ・地方や過疎地域で芸術祭を行っている地域が多くある。

地方に人を呼び込むのになぜ芸術が注目されているのか考えています。芸術は数字とか競争ではなく、一人一人の個性を認める力があります。違っているということが褒められる。例えば、人は来ないが米作りだけが自慢の田舎。それでいいじゃないか。芸術は個性を大事にすることと、地方の魅力を肯定していくということがうまく合致していて、芸術が町の活性化、情報の発信力を作っていくのにとっても大切なこととされています。

- ・展覧会で地元の作家を取り上げて、今まで無名だった作家が注目される。展覧会を開催する過程で、歴史や背景が掘り起こされる。